

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	平成 29年 7月 21日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 大阪市中央区久太郎町2-4-31 クラボウ本社ビル4F	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 取締役社長 小谷 一美

環境マネジメントシステムの名称	環境目標(独自のシステム)
適用範囲	宇治工場、水戸工場、大阪本社、東京支店
導入年月日	2006年 8月 11日
認証番号	—
基本方針	常に地球環境に配慮して組織的かつ継続的に環境負荷の低減に努める。このため企業活動のあらゆる分野に於いて、積極的に環境管理レベル向上を目指すとともに、環境に調和した製品・サービスの提供に努める。 1、関係法令、規則等の遵守 ・自主管理基準の設定と運用 2、環境負荷の低減 ・環境に配慮した新製品の開発 ・資源の有効利用とリサイクル ・省エネルギーの推進 3、地域の環境に共生した事業所の運営及び安全・健康の確保 4、環境に関する社内体制の充実と教育・啓蒙
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	1、CO2排出量の削減 原単位の削減 *2015年度比1%の削減(※ただし電力係数は2015年度を適用に一定とする)。 2、ゼロエミッションの推進、再資源化率の向上 ①宇治工場：ゼロエミの維持 再資源化率99%以上の維持 ②水戸工場：再資源化率97%目標(再資源化率1.8%向上)
目標を達成するための取組の内容	1、ボイラー改善活動の実施 2、乾燥機関連の各種効率化 3、インバーター化 4、高効率化 5、照明のLED化 6、蒸気バルブ断熱材設置 7、各種ムダの削除(ムダ取り活動) 8、昼休み時事務所内照明の消灯及び無人室の照明停止 9、外出時・帰宅時のパソコン電源オフ徹底 10、ノー残業デーの有効活用 11、ゴミの分別廃棄の徹底 12、コピー用紙裏面紙利用の徹底 13、事業系一般廃棄物の細分化
目標を達成するための取組の進捗状況	1、ボイラー燃料使用量削減装置、1工場に運用(これにて宇治工場全社運用済) 2、乾燥条件及び終末真空度の見直しによる乾燥時間の短縮 3、除湿機インバーター周波数の見直し実施、送水ポンプ2台及び廃水処理用プロア1台インバーター設置済 4、空調機10台、ポンプ4台、除湿機7台3台の高効率タイプへ更新 5、照明のLED化推進、約350灯の更新実施 6、蒸気バルブ断熱材未設置箇所及び冷凍庫へ保温カバーの設置 7、エアハンドリングユニット運転時間調整、ポンプ使用箇所を自然勾配へ変更 8、昼休み時事務所内照明の消灯及び無人室の照明停止の徹底 9、外出時・帰宅時のパソコン電源オフ徹底、声掛けし確認 10、大阪本社、東京支店によるノー残業デーの設定(1回/週) 11、紙ゴミリサイクルボックス利用の徹底、缶・ペットボトルの分別容器利用 12、裏紙使用専用ボックスの設置、管理資料のペーパーレス化 13、一般廃棄物の細分化に向け交渉中。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	ほぼ計画通りに取り組むことが出来ている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況については1年に1回確認を行っており、これまで問題も無い。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、原則として1年に1回検討している。この中で平成26年度より原単位の指標の分母を乾燥機チャージ数から生産重量へ変更した。これは工場全体の指標として生産重量の方が、より適切であると判断したためである。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。